

令和6年度 事業報告書

公益財団法人北海道学校給食会

令和6年度は、物価高騰の影響を受けながらも、食育の推進を支援する事業と安全・安心な学校給食用物資を安定的に供給する2つの柱からなる公益目的事業を実施し、児童生徒の心身の健全な発達に資するため、学校給食の円滑な実施に寄与した。

また、管理棟・倉庫棟を移転新築とする施設整備事業を推進した。

以下、主な事業内容を報告する。

1 事業概要

(1) 食育の推進を支援する事業(定款第4条第1号)

学校等で実施される食育推進事業を支援するため、次の事業を実施した。

ア 各種研究大会等の実施

事業名	開催時期	開催地	区分	備考
学校給食共同調理場 管理運営者研修会	5月19日	江差町	主催	後援:北海道教育委員会
子ども給食教室	7月31日	札幌市	主催	後援:北海道教育委員会
北海道学校給食研究大会	8月8日	岩見沢市	共催	主催:実行委員会 (北海道教育委員会、岩見沢市教育委員会、北海道 学校給食研究協議会)
北海道学校給食コンクール	1月8日	札幌市	共催	主催:北海道教育委員会

イ 研究団体等への助成

北海道学校給食研究協議会、北海道高等学校給食研究協議会、札幌市学校給食栄養士会、北海道特別支援学校栄養教諭研究協議会の4団体に対し、学校給食の充実及び食育推進のための経費を助成した。(助成実績:3,500千円)

ウ 施設設備、教材等の無償貸出

(ア) 研修室の貸出

北海道学校給食研究協議会、北海道学校栄養士協議会、札幌市学校給食栄養士会、札幌市学校給食麺協同組合に研修会場などとして、延べ8回の貸出を行った。

(イ) レプリカの貸出 59件(学校、学校給食センター)

(ウ) バイキング用食器の貸出 55件(学校、学校給食センター)

(エ) DVD等の貸出 5件(学校給食センター)

(オ) 学校給食献立システム 61件(市町村教育委員会)

エ 情報発信

公式ホームページコンテンツにより、学校給食、食育に関する情報を発信するとともに、広報誌「いただきます」を年4回(5月、9月、11月、3月)各2,800部を学校・市町村教育委員会等に配付した。

オ 研修会等への講師派遣

食育に関する市町村教育委員会等からの講師派遣の要請はなかった。

(2) 安全・安心な学校給食用物資を安定的に供給する事業(定款第4条第2号)

常に良質で安全な物資を安定的に供給するとともに、給食の時間における食に関する指導や給食費会計に大きな影響を及ぼさないよう、価格の安定を図る観点から、次の事業に取り組んだ。

ア 学校給食用物資の安定供給

(ア) 必要量の確保・品質の確保

- a 精米・米飯の原料となる玄米はホクレン農業協同組合連合会と、パン等の主原料となる小麦粉は製粉会社との年間契約により、それぞれ必要量を確保した。
- b 玄米、小麦粉については、地産地消の観点に立ち、すべて北海道産の原料を安定的に供給した。

また、地元産米を希望する市町村教育委員会には、それぞれの要望に応じて供給した。

- C 一般物資については、道内産及び国内産を主原料とした物資の取扱の充実に努め、安全で良質な物資を安定的に供給した。

(イ) 価格の安定

- a 年間需要見込みに基づき、年間契約による物資確保をすることにより、適正かつ廉価な物資供給に努めた。また、離島を含め全道すべて同一価格で供給した。
- b 学校における給食費及び市町村の給食関係予算の計画的執行に資するよう、取扱物資の価格を年度前及び学期前ごとに周知した。

- C 精米(胚芽米を除く)に添付する学校給食用強化米を無償で提供した。

○米穀の供給状況

区 分	令和6年度	令和5年度	前 年 度 比
市町村数	124	126	98.41%
使用量(kg)	3,330,041	3,324,624	100.16%

○パンの供給状況

区 分	令和6年度	令和5年度	前 年 度 比
市町村数	128	127	100.79%
使用量(個)	13,742,538	14,022,803	98.00%

○米穀・小麦粉等の供給数量

区 分	実 績(kg)	計 画(kg)	実 績 割 合
米 穀			
① 精米	1,227,105	1,201,100	102.17%
② 米飯	2,102,936	2,084,000	100.91%
小 麦 粉			
① 小麦粉(自営用)	89,705	56,200	159.62%
② 小麦粉製品			
小麦粉(パン・麺)	1,365,371	1,325,500	103.01%
砂糖	44,025	43,500	101.21%
ショートニング	20,753	19,200	108.09%
脱脂粉乳	20,700	20,800	99.52%

区 分	実 績(千円)	計 画(千円)	実 績 割 合
一般物資	1,816,248	1,848,133	98.27%

※取扱品目数：520品目(令和7年3月現在)

(ウ) 砂糖とてん菜の食育の取組(給食へのあんこ提供)事業への協力

北海道農政部生産振興局及びホクレン農業協同組合連合会から、農林水産省の補助事業を活用した「砂糖とてん菜に関する食育を目的に道産材料を使用した食材(あんこ)の無償で提供する事業」を実施するにあたり、学校給食への提供の取り組みを支援する事業の受注・配送事務取扱に協力した。

(実績: 納品先件数 111件、取扱数量 3,693袋、取扱金額(配送費) 369千円)

イ 学校給食用物資の安全性確保

(ア) 衛生検査の実施

安全・安心な物資を提供するため、随時に自主細菌検査等を行った。

(検査実績: 93検体)

なお、学校等からの検査依頼はなかった。

(イ) 検査器具の貸出

市町村学校給食センターからの要請により、ATP式拭取検査器等の貸出を行った。

(貸出実績: 79件)

(ウ) 研修会の実施及び講師派遣

2か所の指定加工委託工場から衛生管理についての講師依頼を受け、研修会を開催した。

渡島桧山管内学校給食センター連絡協議会、石狩市学校給食センターから衛生管理について、また、オホーツク管内栄養教諭研修会から商品説明などについて依頼を受け講師を派遣した。

(エ) 加工委託工場実地調査

当会指定加工委託工場の衛生管理状況を確認するため、当会指定加工委託工場62工場すべてに対し、専門員等による実地調査を実施した。

また、市町村からの依頼により、3か所の主食加工委託工場へ立ち入り調査を実施し、主食加工委託工場以外の6工場に対し実地調査を行った。

(オ) 学校給食用パン品質審査会

学校給食用パンの品質向上を図るため、北海道教育委員会と共催し、当会指定加工委託工場39工場を対象として、パンの焼き上がりの状態や味、香り等の品質審査を当会を会場として、7月と3月に実施した。

(カ) 加工委託工場の衛生管理事業に対する助成措置

学校給食用パン、米飯及び麺の指定加工委託工場の衛生管理の維持向上を図るため、施設設備の衛生管理の改善に関する経費を助成した。

(助成実績: 16工場に対し4,500千円)

2 評議員・役員及び職員数

(1) 評議員 9人

(2) 役員 8人(理事長1人、常務理事1人、理事4人、監事2人)

(3) 職員 18人

○評議員・役員の就任状況

令和7年3月31日現在

区 分	氏 名	就任 年月日	現 職 等	推 薦 団 体 等
評議員 (9名)	藤 井 壽 夫	R5. 6. 28	函館市 教育委員会教育長	北海道 都市教育委員会連絡協議会
	長 谷 川 孝 雄	R6. 6. 26	むかわ町 教育委員会教育長	北海道 町村教育委員会連合会
	末 原 恵 蔵	R6. 6. 26	札幌市立 東札幌小学校長	北海道小学校長会
	三 浦 英 悟	R6. 6. 26	札幌市立 琴似中学校長	北海道中学校長会
	小 川 佳 恵	R4. 6. 27	札幌市立 東山小学校栄養教諭	北海道学校給食研究協議会
	椿 野 次 雄	R6. 6. 26	北海道 PTA連合会事務局員	北海道PTA連合会
	先 名 孝 亘	R6. 6. 26	札幌市 PTA協議会副会長	札幌市PTA協議会
	森 靖 明	R5. 6. 28	北翔大学教授	北翔大学
	長 島 博 子	R4. 6. 27	一般社団法人 北海道消費者協会会長	一般社団法人 北海道消費者協会
理事 (6名)	松 本 邦 由	R6. 6. 26	公益財団法人 北海道学校給食会理事長	公益財団法人 北海道学校給食会理事会
	池 田 秀 利	R6. 6. 26	札幌市教育委員会 生涯学習部学校支援担当部長	札幌市教育委員会
	花 井 志 夫	R5. 7. 21	三笠市 学校給食センター長	北海道学校給食研究協議会
	須 藤 克 志	R6. 6. 26	北海道 札幌東高等学校長	北海道高等学校長協会
	益 満 等 之	R6. 6. 26	市立札幌 豊明高等支援学校長	北海道特別支援学校長会
	花 田 誠	R5. 6. 28	公益財団法人 北海道学校給食会常務理事	公益財団法人 北海道学校給食会理事会
監事 (2名)	遠 藤 昭 一	R3. 12. 20	遠藤昭一 公認会計士事務所長	
	嶋 本 剛	R5. 6. 28	札幌市立 丘珠小学校長	札幌市小学校長会